

NEWSLETTER No.58 TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ ISSN1340-5578  
May.10,2003

THE SOCIETY FOR RESEARCH IN ASIATIC MUSIC

# 社団法人 東洋音楽学会 会報 第58号

発行 (社) 東洋音楽学会〔事務所〕〒110-0001 東京都台東区谷中5-9-25 第2 八光ハウス201号

TEL.03-3823-5173 FAX.03-3823-5174 E-mail LEN03210@nifty.ne.jp

ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/tog/>

## 目次

第 54 回大会のご案内...	1	会費納入のお願い...	4
第 54 回大会の研究発表募集...	1	会員異動...	4
第 20 回田邊尚雄賞受賞者発表...	2	図書・資料等の受贈...	6
第 67 回通常理事会議決事項のお知らせ...	2	新刊書籍...	6
名簿作成にご協力ください...	2	新発売視聴覚資料...	8
第 37 回 ICTM 世界大会(中国)への参加登録延期に ついて...	2	前号のおわび...	8
日本学会議芸研連シンポジウムのお知らせ...	3	編集後記...	8
横道萬里雄氏が第 37 回仏教伝道文化賞受賞...	4		

### 第 54 回大会のご案内

社団法人東洋音楽学会は、平成 15 年度の大会を下記の通り開催いたします。どうぞふるってご参加ください。

- 日時：平成 15 年 10 月 25 日(土)・26 日(日)
- 会場：エリザベト音楽大学(〒730-0016 広島市中区鞆町 4-15)  
[交通] JR 広島駅より徒歩約 15 分
- 日程：10 月 25 日(土)
  - 10:00 - 12:00 通常理事会
  - 13:30 - 16:30 公開講演会  
内容未定、中国地方の民俗芸能に関する講演(実演付き)など検討中
  - 16:40 - 16:50 第 20 回田邊尚雄賞授賞式
  - 17:30 - 19:20 懇親会10 月 26 日(日)
  - 9:30 - 11:30 研究発表
  - 12:45 - 14:15 通常総会
  - 14:20 - 15:50 研究発表

#### 4. 会費

- 大会参加費 3000 円(学生 2000 円)  
懇親会費 5000 円(学生 4000 円)

### 第 54 回大会の研究発表募集

第 54 回大会の研究発表会における口頭発表を下記の要領で募集いたします。多彩な発表を期待します。

- 発表時間：20 分(厳守) 質疑応答：10 分
- 申込方法：題目、要旨(横書：本文 40 字×30 行 = 1200 字程度) 氏名、連絡先(住所、電話番号、ファックス番号、E-mail アドレス等) 使用希望機器、その他必要事項を明記の上、書面で下記大会事務局までお申し込みください。
- 申込締切：2003 年 6 月 28 日(土)必着
- 申込宛先：  
〒730-0016 広島市中区鞆町 4-15  
エリザベト音楽大学 片桐研究室気付  
東洋音楽学会第 54 回大会事務局  
Tel 082-221-0918  
Fax 082-221-0947

大会実行委員会：遠藤徹、片桐功(委員長)、権藤敦子、  
田井竜一、塚田健一、月溪恒子、樋口昭、  
藤田隆則、増山賢治

## 第 20 回田邊尚雄賞受賞者発表

第 20 回田邊尚雄賞は、以下のように決定致しました。

### [ 受賞者・受賞対象 ]

根岸正海『宮古路節の研究』( 南窓社、2002 年 2 月発行 )

福岡まどか『ジャワの仮面舞踊』( 勁草書房、2002 年 2 月発行 )

[ 推薦理由 ] 『宮古路節の研究』は、初世宮古路豊後掾が語りはじめ、後の常磐津節、富本節、新内節などの母体となった浄瑠璃、宮古路節についての本格的な歴史研究である。番付や正本、評判記、それに段物集などといった一次資料にもとづいておこなわれた精緻な考察によって宮古路節の隆替を跡づけ、この分野の水準を高めるのに貢献した。「資料編」として添えられた詳細な年表等の意義も大きい。

『ジャワの仮面舞踊』は、インドネシアのジャワ島中西部の仮面舞踊トベン・チルポンを伝承する親子二代にわたる踊り手の芸の伝承形態と実践形態を長期にわたって調査・分析・考察することにより、その相違を明らかにしながら、一つの芸術伝統の動態を抽出した音楽人類学的な研究である。特に、上演芸術の内容を、演者が身につけた技と知識の展開方法に焦点を当てて、変化の要因である創作の範囲と方向を明らかにしたことは注目すべき成果である。

[ 選考経過 ] 会報第 57 号で、広く会員に推薦を募ったところ、1 件の推薦があった。2003 年 3 月 6 日、東京文化財研究所会議室で、蒲生郷昭( 委員長 )、草野妙子、小林貴、谷本一之、樋口昭が出席して選考委員会を開き、対象期間中に刊行された会員の業績 19 件を審議した結果、上記の 2 件が受賞に値するとの結論に達した。

## 第 67 回通常理事会議決事項のお知らせ

2003 年 4 月 6 日 ( 日 ) に東京藝術大学音楽学部で開催された、第 67 回通常理事会の議決事項をお知らせいたします。

### ( 1 ) 新入会員承認の件

2002 年 9 月 1 日から 2003 年 4 月 6 日までに申込のあった正会員 14 名、学生会員 4 名の入会が正式に承認されました。

### ( 2 ) 平成 15 年度研究発表大会および公開講演会の件

本号の関連記事をご覧ください。

### ( 3 ) 第 20 回田邊尚雄賞受賞者決定の件

本号の関連記事をご覧ください。

### ( 4 ) 第 21 回田邊尚雄賞選考委員選任の件

草野妙子、谷本一之、樋口昭 ( 以上留任 ) 蒲生美津子、竹内道敬 ( 以上新任 ) の五氏が選任されました。

### ( 5 ) 会費長期滞納者処理の件

長期会費滞納者のうち、19 名を退会とみなして処理することが承認されました。

### ( 6 ) 参事および会報編集委員委嘱の件

会報 57 号でお知らせした参事および会報編集委員の委嘱が正式に承認されました。また新たに次の方々が参事に委嘱されました。

[ 本部 ] 音谷芙美子、佐藤文香 [ 東日本支部 ] 遠藤懐、黒川真理恵、藤本寛子 [ 沖縄支部 ] 高橋美樹

### ( 7 ) ICTM 日本国内委員会の件

同委員会委員長に谷本一之会長が就任することが承認され、塚田健一氏が、同委員会の事務を補佐する ICTM 担当委員として委嘱されました。

### ( 8 ) 情報委員会委員選任の件

前号の会報でお知らせした方々に加え、小塩さとみ、上野正章の二氏を新たに委員に選任することが承認されました。

## 名簿作成にご協力ください

本年は学会名簿作成の年にあたります。新しい名簿は、本年 8 月末発行予定の機関誌に同封されます。同封のハガキに必要事項を記入の上、6 月 30 日 [ 厳守 ] までにご投函ください。なお今回のアンケートは、将来における学会情報電子化のための予備的調査を兼ねております。会員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

## 第 37 回 ICTM 世界大会 ( 中国 ) 開催延期のお知らせ

今年の 7 月 15 日 ( 火 ) から 22 日 ( 火 ) まで中国の福州と泉州において第 37 回 ICTM 世界大会が行われる予定でした。しかしながら、最近の中国を中心とする各地の新型肺炎 ( SARS ) の流行により、ICTM 本部では本大会の開催を延期することに決定いたしましたのでお知らせします。なお、延期後第 37 回大会がいつ行われるかは未定です。新しい開催日程が決まり次第、本学会ホームページ等でお知らせします。

またこの件に関しましては、ICTM のホームページ < <http://www.ethnomusic.ucla.edu/ictm> > もご覧ください。

( 塚田健一 )

## 日本学術会議芸研連シンポジウムの お知らせ

例年6月に開催しているシンポジウムにつきご案内申し上げます。

### 「表象芸術2003シンポジウム アジアの歌と舞い」

今年はお出雲阿国が四條河原で歌舞伎興行を行ってから四百年にあたります。立命館大学では、「COEプログラム：京都アート・エンターテインメント創成研究」の一環として、日本学術会議芸術学研究連絡委員会との共催で、これにちなむパフォーマンスとシンポジウム「アジアの歌と舞い」を計画しました。この企画は、歌舞伎という日本の伝統芸能を歴史的に振り返るとともに、アジア的美意識の広がりの中で眺めてみようというものです。さらに加えて「表象芸術」の視点から「アジアの身体表現」の独自性を明らかにしてみたいと思います。

主催 日本学術会議芸術学研究連絡委員会  
立命館大学 COE プログラム 京都アート・エンターテインメント創成研究

シンポジウム・オーガナイザー  
芸術学研究連絡委員会委員長・立命館大学大学院教授  
神林恒道

日時 2003年6月28日(土) 29日(日)

会場 立命館大学以学館ホール

### 第一日 パフォーマンス

#### 第一部「歌舞伎400年」

##### (1) 阿国歌舞伎の踊り

「綾子舞」から「小原木踊り」

解説 国枝タカ子(茨城大学)

技術指導 近藤洋子、近藤 清

出演 近藤洋子、柏木利恵子、柴田都子

##### (2) 若衆歌舞伎

「鹿島踊り」から「月は八幡」他

解説 近藤洋子(国際キリスト教大学)

出演 国枝タカ子、安広美智子、近藤洋子、新井啓子、

池田京子、近藤 清

##### (3) 阿国踊りのおもかげを残す踊り

「徳山の盆踊り」から「ヒーヤイ踊り」の「ぼたん」

出演 新 徳子、松下清子、二見伊津子、森下晴枝、

森下はるみ、柏木利恵子、柴田都子

##### (4) 上方舞

「黒髪」

解説 国枝タカ子

出演 神崎ひで奈

##### (5) 歌舞伎踊りの始祖 志賀山流の踊り

「清元 梅の春」

解説 石黒節子(お茶の水女子大学)

出演 志賀山 葵(家元補佐)

### 第二部「表象芸術としての現代舞踊」

#### (1) Duo

出演 平松み紀 他(水戸芸術館 ACM 劇場)

#### (2) 現代創作舞踊

「札」

出演 3名

「江戸のかたち」

出演 若松武史、石黒節子 他3名

振付 石黒節子

美術 石黒 猛

講演 デジタル・アーカイブとモーション・ピクチャーに  
ついて 八村広三郎(立命館大学)

### 第三部「京都と日本、そしてアジアから」

#### (1) インドネシアの歌舞(芸能山城組)

解説 未定

出演 未定(3名)

#### (2) 中国の歌舞(台湾 京劇)

解説 潘 (台湾仏光大学助教授)

出演 未定

#### (3) 韓国の歌舞(韓国 パンソリと伝統舞踊)

解説 李 炳男(釜山市立美術館学芸官)

出演 パンソリ 金 田二

舞踊 李 貴叔

楽器演奏 姜 成仁、宋 在允

### 第二日 シンポジウム：アジアの歌と舞い

記念講演「歌舞伎400年にちなんで」

川嶋将生(立命館大学教授)

#### (1) 東洋の身体論

美学会 樋口 聡(広島大学助教授)

#### (2) 風俗画に見る歌舞伎 美術史学会

岸 文和(同志社大学教授)

- ( 3 ) 歌舞伎と装い 服飾美学会  
小池三枝 ( お茶の水女子大学名誉教授 )
- ( 4 ) 舞踊と音楽 東洋音楽学会  
山口 修 ( 大阪大学教授 )
- ( 5 ) 舞踊表現の東西 比較舞踊学会  
吉川周平 ( 京都市立芸術大学日本伝統音楽  
研究センター教授 )

他に関西歌舞伎の片岡仁左右衛門丈に出席をお願いしていません。( 交渉中 )

### 横道萬里雄氏が第 37 回仏教伝道文化賞受賞

財団法人「仏教伝道協会」より、「文芸、美術、音楽、評論、その他」を対象とする部門で横道萬里雄氏に第 37 回仏教伝道文化賞が贈られた。仏教系の新聞報道による受賞理由は以下の通り。

「仏教音楽の世界的な研究者で能楽研究の第一人者でもあり、音楽と法要の構造を有機的に結びつけ、仏教音楽を理解できるようにした。成果は『声明大系』その他にまとめられている」

なお、3月14日に贈呈式がおこなわれた。

### 会費納入のお願い

2002 年度 ( 2002 年 9 月 1 日 ~ 2003 年 8 月 31 日 ) までの学会費を未納の方に、請求書と振替用紙を同封いたしました。請求書で未納金額をお確かめの上、早急に払い込みください。

本状と行き違いに納入がありました場合は、ご容赦ください。



## 図書・資料等の受贈

( 2003 年 1 月 ~ 4 月、到着順 )

- 『楽道』12,1,2,3,4 月号 正派邦楽会  
『白い国の詩』12,1,2,3,4 月号 東北電力(株)地域交流部  
『月刊みんぱく』12,1,2,3,4 月号 国立民族学博物館  
『MLAJ Newsletter』vol.23 No.2 音楽図書館協議会  
『アジアセンターニュース』No.22,23  
国際交流基金アジアセンター  
『日本の語り物 口頭性・構造・意義』日文研叢書 26  
国際日本文化研究センター共同報告  
時田アリソン / 薦田治子編 国際日本文化研究センター  
『日本語を歌・唄・謡う』( CD18 枚組 解説書付き )  
中山一郎編 アド・ポポロ  
『国立民族学博物館国内資料調査委員 調査報告集 22』  
( CD-ROM ) 国立民族学博物館情報管理施設  
『Bulletin of Vietnamese Institute for Musicology』  
No.7 Vietnamese Institute for Musicology  
『笛と箏による歌曲 綾蘭笠(あやいがさ)~「梁塵秘抄」  
より』 山口明子・山根秀憲 共編著 音楽之友社  
『柳川三味線による京都を詠んだ地歌の節付  
貴船・さらし・嵯峨の春』 (社)京都當道会  
『浜松市楽器博物館だより』No.30  
浜松市楽器博物館  
『ぎふ民俗音楽』第 57 号 岐阜県民俗音楽学会  
『平家の音楽 当道の伝統』 薦田治子著 第一書房  
『研究紀要』XXIII エリザベト音楽大学  
『研究紀要』第 9 号  
北海道立アイヌ民族文化研究センター  
『日本音楽学会会報』第 57 号  
『日本音楽学会関東支部通信』第 59 号 日本音楽学会  
『演劇映像』第 44 号 早稲田大学演劇映像学会

住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡  
ください。(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用  
はがき、またはファクス、E-mail 等でも結構です)

改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添  
えください。(複数表記される場合、どちらを主な表  
記にするのか等)

事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等  
がある場合には、その旨明記してください。

## 新刊書籍

- 『アジア遊学 50 朝鮮社会と儒教』編集部編、勉誠出版、  
1,800 円  
『癒しの楽器パイプオルガンと政治』草野厚著、文芸春秋、  
680 円  
『岩波講座天皇と王権を考える 6 表徴と芸能』網野善彦ほか  
編集委員、岩波書店、3,200 円  
『歌右衛門の疎開』山川静夫著、岩波書店、900 円  
『梅若実日記 第 1 巻 嘉永 2 年 ~ 文久 2 年』梅若六郎・鳥

- 越文蔵監修、梅若実日記刊行会編、八木書店、12,000円  
『梅若実日記』第2巻 文久3年~明治5年』梅若六郎・鳥越文蔵監修、梅若実日記刊行会編、八木書店、12,000円  
『映像/言説の文化社会学 フィルム・ノワールとモダニティ』中村秀之著、岩波書店、3,200円  
『江戸時代の歌舞伎役者』田口章子著、中央公論新社、952円  
『江戸東京 娘義太夫の歴史』水野 悠子著、法政大学出版、7,500円  
『NHK 日本の伝統芸能 2003 歌舞伎 日本舞踊 能・狂言 文楽鑑賞入門』日本放送協会編集、日本放送出版協会、960円  
『沖縄を深く知る事典』『沖縄を知る事典』編集委員会編、日外アソシエーツ/紀伊国屋書店、8,500円  
『音楽ギョーカイ人日記 音楽ラクありゃ苦もあるさ』古屋 chibi 恵子著、ドレミ楽譜出版社、1,400円  
『音楽空間への誘い』コンサートホールの楽しみ、日本建築学会編、鹿島出版会、2,800円  
『音楽ビジネス・自遊自在 原盤権と音楽著作権を知るためのハンドブック』鹿毛丈司著、音楽の友社、1,600円  
『風を聴く 音を聴く 作曲家がめぐる音宇宙』新実徳英著、音楽の友社、2,200円  
『カチャーシーどーい』黒潮文化と乱舞の帯、仲宗根幸市著、ポーターインク、1,200円  
『桂米朝コレクション 上方落語 5』桂米朝(3代目)著、筑摩書房、880円  
『歌舞伎がわかる。』朝日新聞社、1,300円  
『川越の祭り 小江戸川越写真集』小泉功監修、埼玉新聞社、10,476円  
『《韓国の学術と文化 14》韓国の歳時習俗』張籌根著、兎玉仁夫訳、法政大学出版、3,800円  
『観世流 太鼓手附』十六世 観世元信、檜書店、30,000円  
『暮らしの中の民俗学 1 一日』新谷尚紀・波平恵美子・湯川洋司編、吉川弘文館、2,600円  
『恋する文楽』広谷鏡子著、筑摩書房、780円  
『子どもの中世史』斉藤研一著、吉川弘文館、2,800円  
『作曲家の道具箱』林光著、一ツ橋書房、2,400円  
『三匹獅子舞の研究』笹原亮二、思文閣出版、6,500円  
『知ってるようで知らない!邦楽おもしろ雑学事典』西川浩平著、ヤマハミュージックメディア、1,600円  
『シベリア鎮魂歌』菊池春雄著、新風舎、1,200円  
『新内節散歩 曲別解説』富士松松栄太夫著、ゴエスインフォ-ムド、3,200円  
『図説江戸の演劇書 歌舞伎篇』赤間亮著、八木書店、5,800円  
『葬送の歌』福島泰樹著、河出書房新社、2,000円  
『たいころじい 第22巻 特集 楽器の木』浅野太鼓文化研究所、1,429円  
『竹田の子守唄 名曲に隠された真実』藤田正著、解放出版社、2,200円  
『楽しい箏楽譜集 授業や音楽会ですぐに使える』山内雅子著、音楽之友社、2,800円  
『太郎冠者・山伏行状記』野上豊一郎著、野上記念法政大学能楽研究所編、檜書店、1,300円  
『筑紫箏音楽史の研究』宮崎まゆみ著、同成社、25,000円  
『津軽三味線スタイルブック これが、津軽三味線だ!』木下伸市/シンコ・・ミュ-ジック 2003/04、2,000円  
『ドラミング リズムで癒す心とからだ』ロバート・ローレンス・フリードマン著、佐々木薫訳、音楽の友社、2,000円  
『日本のうた大全集 詩と解説』長田暁二編著、自由現代社、2,700円  
『日本舞踊の心 2巻 春に花 下』西形節子著、演劇出版社、2,000円  
『能・狂言の生成と展開に関する研究』林和利著、世界思想社、8,500円  
『能楽への招待』梅若猶彦著、岩波書店、700円  
『能の囃子と演出』高桑いづみ著、音楽の友社、4,800円  
『能面打ち 下 堀安右衛門の作品と技』堀安右衛門著、神田佳明撮影、8,000円  
『ビギンの唄本 オモトタケオ 沖縄三線で弾く』Begin 著、ドレミ楽譜出版社、1,000円  
『舞踊年表 1 昭和四十二年(一九六七年)~昭和五十年(一九七五年)』如月青子著、如月青子(朝日新聞社)、24,000円  
『舞踊年表 2 昭和五十一年(一九七六年)~昭和六十年(一九八五年)』如月青子著、如月青子(朝日新聞社)、24,000円  
『舞踊年表 3 昭和六十一年(一九八六年)~平成五年(一九九三年)』如月青子著、如月青子(朝日新聞社)、24,000円  
『舞踊年表 4 平成六年(一九九四年)~平成十二年(二〇〇〇年)』如月青子著、如月青子(朝日新聞社)、24,000円  
『舞踊年表 別巻 索引』如月青子著、如月青子(朝日新聞社)、24,000円  
『文化史の構想』大隅和雄編、吉川弘文館、8,500円  
『文楽ハンドブック』藤田洋編、三省堂、1,600円  
『平家の音楽 当道の伝統』薦田治子著、第一書房、15,000円  
『ポール・ノードフ音楽療法講義 音楽から学ぶこと』クライヴ・ロビンズ、キャロル・ロビンズ編 若尾裕、進士和恵訳、音楽の友社、2,800円  
『民俗信仰の神々』大島建彦著、三弥井書店、2,800円

『民謡地図』3 追分と宿場・港の女たち』竹内勉著、本阿弥書店、3,500 円  
『やさしく学べる笛教本』福原徹著、汐文社、2,000 円  
『やさしく学べる箏教本』福永千恵子著、汐文社、2,000 円  
『やさしく学べる三味線教本』西潟昭子著、汐文社、2,000 円  
『遊芸文化と伝統』熊倉功夫編、吉川弘文館、8,000 円、  
『横笛の魅力』寶山左衛門 ( 4 世 ) 著、出版芸術社、2,400 円  
『落語大百科 5』川戸貞吉著、冬青社、2,500 円  
『和の楽しみ本條秀太郎の三味線ちんちり連』日本放送協会編、日本放送出版協会、1,000 円

## 新発売視聴覚資料

### カセット

『江戸好み ご存知じゝ 都々逸決定版』監修・三味線 富士松菊三郎、日本コロムビア、COTF-5120、2,500 円  
『関西民謡会 民謡の競演』日本コロムビア COTF-5121、3,000 円  
『決定版 日本の民謡』日本コロムビア、COTF-5089~90(2 巻組)、3,675 円  
『決定版 東北の民謡』日本コロムビア、MT:COTF-5091~92(2 巻組)、3,675 円  
『決定版 沖縄の民謡』日本コロムビア、COTF-5093~94(2 巻組)、3,675 円  
『清水次郎長伝 二代目 広沢虎造 浪曲全集』日本コロムビア、COTF-5122~31 (10 巻組) 12,000 円

### コンパクト・ディスク

『江戸好み ご存知じゝ 都々逸決定版』日本コロムビア、COCJ-32086、2,500 円  
『江戸の文化(1)語り』日本コロムビア、COCJ-32071、2,000 円  
『江戸の文化(2)歌』日本コロムビア、COCJ-32072、2,000 円  
『江戸の文化(3)艶』日本コロムビア、COCJ-32073、2,000 円  
『江戸の文化(4)麗』日本コロムビア、COCJ-32074、2,000 円  
『江戸の文化(5)趣』日本コロムビア、COCJ-32075、2,000 円  
『決定版 日本の民謡』日本コロムビア、COCJ-31888~89(2 枚組)、3,675 円  
『決定版 東北の民謡』日本コロムビア、COCJ-31890~91(2 枚組)、3,675 円  
『決定版 沖縄の民謡』日本コロムビア、COCJ-31892~93(2 枚組)、3,675 円  
『シルクロードの音楽 中国の旅 (日本語・英語・中国語)解説入り』指揮/士心、二胡/劉 明源、演奏/中国中央民族楽団、

日本コロムビア、COCJ-32175、2,500 円  
『新ノ津軽三味線 名人競演』日本コロムビア、COCJ-32082~3、4,000 円  
『新撰 藤井久仁江 箏曲地歌の世界』日本コロムビア、COCJ-32046~50、12,000 円  
『新内と新内三味線 決定版』日本コロムビア、COCJ-32084~5、4,000 円  
『姜 建華 (二胡) ベスト・コレクション II』日本コロムビア、COCJ-32178、2,300 円

### DVD

『枝雀落語大全 第十一集~二十』桂 枝雀、TOBS-1051~1060、各 3,800 円

## 前号のおわび

制度変更前の最後の例会 (2002 年 7 月) 報告は、本来ならば前号に掲載すべきところ、会報編集担当理事の手違いで掲載いたしませんでした。すでに制度変更から半年がすぎたこともあり、当該記事は、会報ではなく東日本支部だより 5 月号に掲載していただきました。発表者の小塩さとみ氏、劉麟玉氏、王櫻芬氏、記録報告者の塚田健一氏、ならびに会員各位に対し、当方の不手際で掲載が遅れ、ご迷惑をおかけしたことを深くおわび申し上げます。

## 編集後記

制度改革にともない、3 支部制が発足して半年がたちました。東日本支部では、関東以外の地区で例会を企画するなど、新しい試みもはじまりました。また情報委員会の体勢もとのい、今後はホームページで速やかに情報が提供できる見込みです。会報も従来のスタイルを踏襲するだけでなく、会員の声をうつした企画をもりこみたいと考えておりますので、ご意見をお寄せください。

本号より、参事の音谷英美子さん、佐藤文香さんが会報編集委員に加わりました。どうぞよろしく願いいたします。

### 会報編集委員会

理 事：尾高暁子、高桑いづみ

委嘱委員：丹羽幸江 ( 東日本支部委員 )

参 事：音谷英美子、金光真理子、斉藤完、佐藤文香、高瀬澄子、鳥谷部輝彦、前島美保、松村智郁子